

セゾンエアコン 据付説明書・電気配線工事説明書

FDT S 401~801

PJC012D003

お願い

- 下記に示すような場所での据付、使用は避けてください。
 - ▶ 油の飛沫や蒸気が多い所（例：調理場、機械工場）
熱交換器の性能低下・腐食、プラスチック部分の破損の原因となります。
 - ▶ 腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性がある場所。熱交換器の腐食、プラスチック部分の破損の原因となります。又、可燃性ガスは発火の原因になることがあります。
 - ▶ 病院などの電磁波を発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近く、ノイズ発生によるコントローラの誤動作の原因となります。
 - ▶ 潮風が当たる所（海浜地区）。外板、熱交換器の腐食の原因となります。

工事完了後、これだけは再チェック願います。		
チェック項目	不良だと	チェック欄
室内外のユニットの取り付けはしっかりしていますか。	落下・振動・騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレンはスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体に表示の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
電線の太さは仕様どおりですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

△ 注意

- 下記に据付け上の注意事項を示しますので必ずお守りください。
 - ▶ 直射日光の当たる所にリモコンを設置しないでください。リモコンの故障や変形の原因になることがあります。
 - ▶ アースを取ってください。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、誤動作や感電の原因になることがあります。
 - ▶ 漏電ブレーカーの取り付けが必要です。漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
 - ▶ エアコンの重量に十分耐えられる場所に確実に設置してください。据付けに不備があるとユニットの落下によるケガや振動及び運転音増大の原因になります。
 - ▶ ユニットの据付場所の近くまで梱包のまま搬入してください。
 - ▶ 冷媒ガスが漏れた時、室内の冷媒濃度が限界濃度 (0.3kg/m³) を超える恐れのある場合は、窒息防止のために隣室との間の開口部やガス漏れ検知警報と連動する機械換気装置等の取付けが必要となりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 溶接作業時などで発生するスパッタが本ユニットにあたった場合、ドレンパン等に損傷（ピンホール）を与え、水漏れにいたる場合があります。ユニットの近くで作業を行う場合は十分な注意をお願いするとともに、ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため、梱包状態のままとしておくかおおいなどにより必ずカバーをしてください。

〈お願い事項〉

- 取扱説明書を見ながら、お客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた（特にエアフィルタの清掃、運転操作のしかた、温度調節の方法）をご説明ください。
- 長時間使用しない時は、電源スイッチを切るようにお客様にご説明ください。電源スイッチを入れたままにしておきますと、クランクケースヒータ等に通電されエアコンを使用しなくても電力を消費することになります。

①据付のまえに

○据付はこの据付説明書に従って正しく行なってください。
○工事計画にあっておりますか。

機種・電源仕様
確認してください
配管・配線・小物部品

＜付属品＞（ユニット内に付属しております。フィルターを外して取り出してください。）

付 属 品	① 本体吊り込み関係	③ パネル関係																																																
	<table border="1"> <tr> <th>型</th> <th>紙</th> <th>個</th> <th>備</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2個</td> <td>(左右各1個)</td> </tr> </table>	型	紙	個	備			2個	(左右各1個)	<table border="1"> <tr> <th>丸ネジ</th> <th>個</th> <th>備</th> </tr> <tr> <td></td> <td>7個</td> <td>直吹パネル固定用</td> </tr> </table>	丸ネジ	個	備		7個	直吹パネル固定用																																		
型	紙	個	備																																															
		2個	(左右各1個)																																															
丸ネジ	個	備																																																
	7個	直吹パネル固定用																																																
	② フレアナット部断熱用	④ ドレン配管用																																																
	<table border="1"> <tr> <th>1</th> <th>パイプカバー</th> <th>個</th> <th>備</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1個</td> <td>ガス管用</td> </tr> <tr> <th>2</th> <th>パイプカバー</th> <th>個</th> <th>備</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1個</td> <td>液管用</td> </tr> <tr> <th>3</th> <th>バンド</th> <th>個</th> <th>備</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>4個</td> <td>パイプカバー用</td> </tr> </table>	1	パイプカバー	個	備			1個	ガス管用	2	パイプカバー	個	備			1個	液管用	3	バンド	個	備			4個	パイプカバー用	<table border="1"> <tr> <th>1</th> <th>パイプカバー</th> <th>個</th> <th>備</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2個</td> <td>ドレンソケット用</td> </tr> <tr> <th>2</th> <th>ドレンホース</th> <th>個</th> <th>備</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1個</td> <td></td> </tr> <tr> <th>3</th> <th>ホースクランプ</th> <th>個</th> <th>備</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1個</td> <td>ドレンホース用</td> </tr> </table>	1	パイプカバー	個	備			2個	ドレンソケット用	2	ドレンホース	個	備			1個		3	ホースクランプ	個	備			1個	ドレンホース用
1	パイプカバー	個	備																																															
		1個	ガス管用																																															
2	パイプカバー	個	備																																															
		1個	液管用																																															
3	バンド	個	備																																															
		4個	パイプカバー用																																															
1	パイプカバー	個	備																																															
		2個	ドレンソケット用																																															
2	ドレンホース	個	備																																															
		1個																																																
3	ホースクランプ	個	備																																															
		1個	ドレンホース用																																															

②据付場所の選定

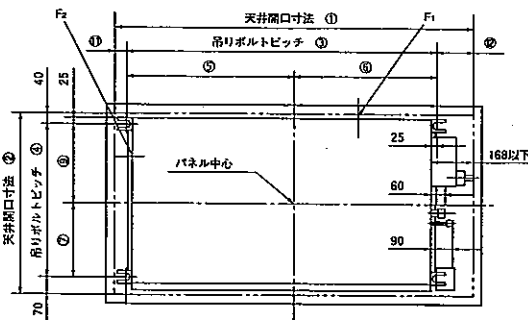
- 据付場所は下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
 - 冷風または温風が十分行きわたる所。
 - 据付高さが3mを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をお勧めください。
 - 室外への配管、配線のしやすい所。
 - ドレン排水が完全にできる所。ドレン勾配のとれる所。
 - 吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤動作しない所。ショートサーキットしない所。
 - 直射日光の当たらない所。
 - 周囲の露点温度が28℃以下、相対湿度80%以下の所。
 （高湿度の所に据付ける場合は本体の断熱等露付に対する配慮をしてください。本ユニットは、JIS露付条件にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、ユニット周囲が上記条件以上の高湿度雰囲気の状態と運転すると、水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用する可能性がある場合には、ユニット本体の全て及び配管、ドレン配管にさらに10mm~20mmの断熱材を取り付けてください。）
- 据付けようとする場所がユニットの重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われるたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。

F-D-03

1 方向吹出し天井埋込形 3-2/6

標準設置	高天井設置 (40~80のみ)	下がり天井設置	各設置方法共通																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">記号</th> <th colspan="3">単位: mm</th> </tr> <tr> <th colspan="2">グリルとダクト</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弊社標準</td> <td></td> <td>90</td> <td>150 ~200</td> <td>240 ~290</td> </tr> <tr> <td>別売品を使用する場合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現地手配の場合</td> <td></td> <td colspan="3">C=400以下</td> </tr> </tbody> </table>	記号		単位: mm			グリルとダクト		A	B	C	弊社標準		90	150 ~200	240 ~290	別売品を使用する場合					現地手配の場合		C=400以下			
記号		単位: mm																										
グリルとダクト		A	B	C																								
弊社標準		90	150 ~200	240 ~290																								
別売品を使用する場合																												
現地手配の場合		C=400以下																										

③吊り込み



A	冷媒ガス側配管	ハイパーバーシリーズ	40, 45	50~63	71~80
B	冷媒液側配管	標準シリーズ	40~56	63~80	
C	ドレン配管接続口		1230	1440	
D	電源取入口		710	730	
E	吊りボルト		990	1250	
F1, 2	○A取入口		555	675	
			435	575	
			285	295	
			315	325	

ハイパーバーシリーズ	40, 45	50~63	71~80
標準シリーズ	40~56	63~80	
①	1230	1440	
②	710	730	
③	990	1250	
④	600	620	
⑤	555	675	
⑥	435	575	
⑦	285	295	
⑧	315	325	

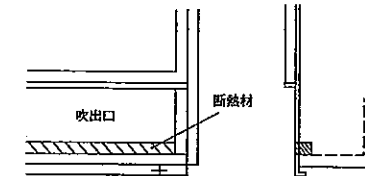
ハイパーバーシリーズ	40, 45	50~63	71~80
標準シリーズ	40~56	63~80	
⑨	194	250	
⑩	650	670	
⑪	60	45	
⑫	180	145	
⑬	940	1200	
⑭	85	70	
⑮	205	170	
⑯	115	100	

高天井設置改修要領

ハイパーバーシリーズ: 40~63
標準シリーズ: 40~80

(高天井設置の場合は次の改修が必要です。)

①吹出口に直吹パネルに付属の断熱材を貼り付けます。

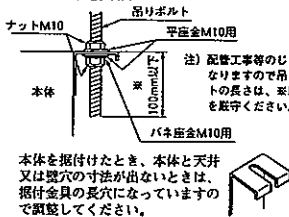


②リモコンより機能の設定を行ってください。(50Hz, 60Hz地区共)
機能設定の「室内機能」を選択し、機能番号「01 高天井設定」を変更してください。

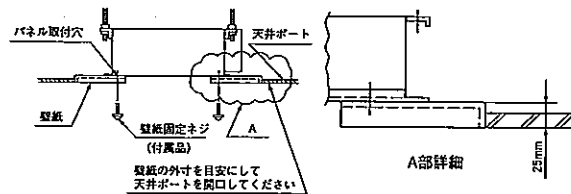
操作方法は、リモコンの添付説明書をご覧ください。

機能番号A	機能内容B	設定内容C	出荷時設定
01	高天井設定	標準	○
		高天井1	

○ユニット固定要領

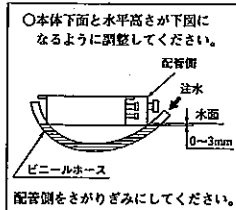


○天井又は壁穴あけ要領

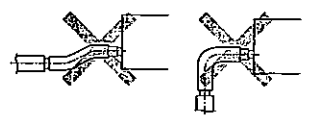


〈水平度の調整〉

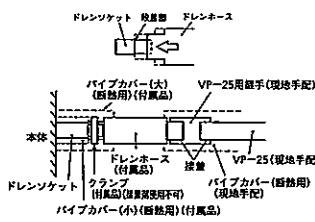
水準器を使用するか、下記の要領で水平度の調整を行ってください。



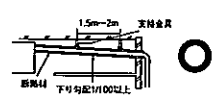
④ ドレン配管 (ツイン機・トリプル機の場合は全てのユニットに行ってください。)



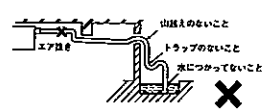
●付属のドレンホースとVP-25用継手の接着はユニット吊下げ前に実施してください。
 ●ドレンホースは、ユニットあるいは、ドレン配管の据付時の最少ずれを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っぱって使用された場合、破損し、水漏れに至る場合があります。



●ドレン管は市販の硬質塩ビパイプ一般管VP-25を使用してください。
 ●付属のドレンホース(軟質塩ビ管)をユニットのドレンソケットの段差部まで装着し、付属のクラップで確実に締めてください。
 <接着剤使用不可>
 ●ドレンホース(硬質塩ビ管)に、VP-25用継手(現地手配)を接着・接続し、この継手にVP-25(現地手配)を接着・接続してください。



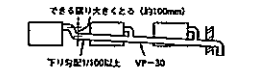
●接着剤は付属ドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。
 乾燥後、フレキシ部に力が加わった場合、フレキシ部が破損する恐れがあります。
 ●ドレン配管は下り勾配(1/50~1/100)とし途中山越えやトラップを作らないようにしてください。



●ドレン配管を接続する場合にユニット側の配管に力を加えないよう注意して行いできる限りユニット近傍で配管を固定してください。
 ●エア抜きは絶対に行わないでください。
 ●複数台のドレン配管の場合左図のように、本体ドレン出口より約100mm下で集合配管がくるようにしてください。また集合管はVP-30以上を使用してください。

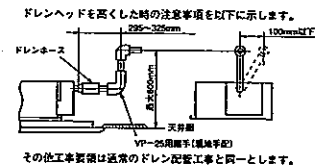


●結露が発生し、水漏れをおこす可能性がありますので、下記2箇所は確実に断熱してください。



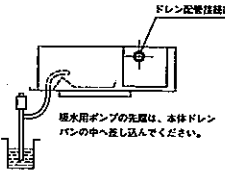
・ドレンソケット部
 排水テストを実施後、パイプカバー(小:付属品)をドレンソケット部に装着したあと、パイプカバー(大:付属品)にてパイプカバー(小)、クラップ及びドレンホースの一部を覆い、テープによりすきまのないように巻いてください。
 ・室内にある硬質塩ビパイプ

●ドレン配管の出口高さは、天井面より60cmまで高くさせることができますので、天井内に障害物がある場合にエルボ等を用いて施工してください。この場合、立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなりオーバーフローの恐れがありますので、下図の寸法内で処理願います。
 ●ドレン配管の出口は臭気発生する恐れのない場所に施工してください。
 ●ドレン配管は、イオウ系有害ガス及び可燃性ガスの発生する下水溝に直接入れないでください。室内に有害ガス及び可燃性ガスが侵入する恐れがあります。



排水テスト

●試運転時に排水が確実に行われていることと、接続部からの水漏れのないことを確認してください。
 ●暖房期の据付の際にも必ず実施してください。
 ●新築の場合には天井を張る前に実施してください。



1. 本体吹出部より給水ポンプなどを使用して約1000ccほど注水してください。
 2. ドレン排水しているか排出口部でご確認ください。
 ※ドレン排水用電動機のリモコンを確認しながら排水するかどうかをテストしてください。
 3. 排水テスト後、ドレンプラグを外して水抜きを行ってください。
 水抜き確認後はドレンプラグを元通りにはめ込んでください。
 ドレン配管の断熱が本体部まで完全に行っているかを再確認してください。

ドレンポンプ強制運転方法

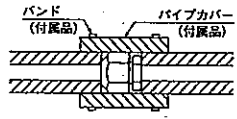
●ドレンポンプの運転がリモコン操作により可能です。
 ●運転操作方法は、裏面の⑥ドレンポンプ運転操作をご覧ください。

⑤ 冷媒配管

フレアナット締付トルク

φ 6.35: 14~ 18(N・m), (1.4~1.8kg・m)
φ 9.52: 34~ 42(N・m), (3.4~4.2kg・m)
φ 12.7: 49~ 61(N・m), (4.9~6.1kg・m)
φ 15.88: 68~ 82(N・m), (6.8~8.2kg・m)
φ 19.05: 100~120(N・m), (10~12kg・m)

ガス配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。
 ※液側配管は断熱しないと結露し水漏れします。
 ●ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛付け外してください。(このときガスが出る場合があります。異常ではありません。)
 ●フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回りで3~4回転ねじ込み、2丁スパナ掛付けししっかりと締め付けてください。
 ●配管は下記材質のものをご使用ください。なお別売配管セットを使用されると便利です。(材質) リン酸塩銅無鉛管 (C1220T, JIS H3300)
 ●室内側のフレア接続部は、ガス漏れチェック後、付属の継手用断熱材をかぶせ、両端を付属のバンドでしっかりと締め付けてください。
 ●配管は、おしったり一つぶしたりしないでください。
 ●配管内はゴミ・切粉・水分が侵入しないように施工してください。



⑥ パネル取付け (パネル取付用ボルトはパネルに付属しています。)

① 吸込グリルを開け、中の遮風板を外します。(ネジ2本を外す)

② 本体にパネル取付用ネジ2本を取り付けます。

③ パネルの○穴部(2箇所)を本体のネジに引っ掛け、10mm程度スライドさせます。パネル取付用ネジ5本にてパネルを固定します。

④ ルーバモータ、リミットスイッチ用コネクタを開口部より接続します。

⑤ 遮風板を元通り取付けてください。

⑥ 吸込グリルを閉めて完了です。

電気配線工事

電気配線工事は電気設備技術基準及び内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

(A) 電源・室内外接続線

お願い

室内外接続線は3心ケーブルを使用してください。

警告

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及びこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧、ブレーカーを使用する。電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。

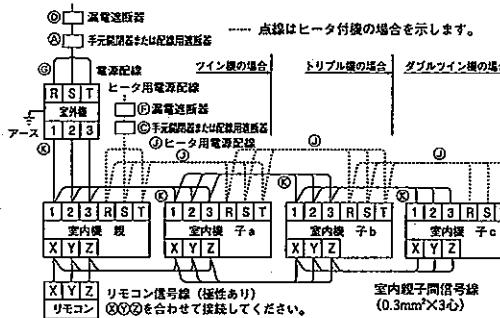
注意

●アース工事を行う。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース線が不完全な場合は感電の原因になります。

●電源には必ず漏電遮断器(高調波対応品)を取付ける。漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。

●正しい容量のブレーカー(漏電遮断器・手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)・配線用遮断器)を使用する。大きな容量のブレーカーを使用すると、故障や火災等の原因になります。

ツイン機・トリプル機の結線



- ①室内親・子機間は端子台①②③及び④⑤⑥の同一番号間を接続してください。
- ②室内基板上的のロータリスイッチSW2により、同一冷媒系統すべての室内機を同一アドレスに設定してください。
- ③室内子機は、室内基板上的のアドレススイッチSW5-1, SW5-2により、子a~子cに設定してください。

④電源投入後、リモコンの「エアコンNo/点検」スイッチを押し、接続されている室内親・子機No.がリモコンに表示される事を必ず確認してください。

室内機の親・子設定方法

工場出荷時「親」設定		室内機			
室内基板	アドレススイッチ	親	子a	子b	子c
SW5-1		OFF	OFF	ON	ON
SW5-2		OFF	ON	OFF	ON

開閉器・配線仕様

(シングル機：ヒータレス)

注 (1) 配線こう長は、電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を越える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。

⑤の記載なき欄の配線こう長は50mです。

(2) 室内外接続線⑥は総長70mまでとさせていただきます。

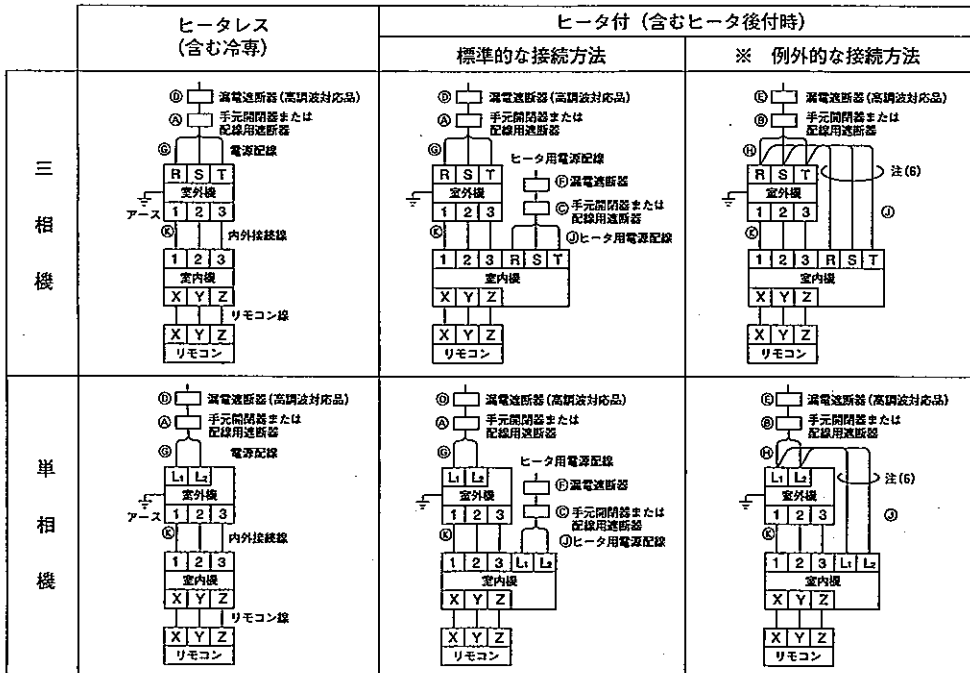
(3) 衝撃波不動作形のブレーカーを使用してください。

機種	室外機	漏電遮断器 定格電流		手元開閉器 開閉器容量 B種ヒューズ		配線用遮断器 定格電流		電源配線 注(1)		内外接続線 注(1)		アース線	
		①	②	③	④	太さ×本数	こう長	太さ×本数	太さ	ネジ			
単相	P40~P56	20A, 30mA, 0.1sec以下	30A	20A	20A	φ2.0×2	23m	φ1.6×3	φ1.6	M5			
	P63	20A, 30mA, 0.1sec以下	30A	20A	20A	φ2.0×2	20m	φ1.6×3	φ1.6	M5			
三相	P40~P63	15A, 30mA, 0.1sec以下	15A	15A	15A	φ1.6×3	29m	φ1.6×3	φ1.6	M5			
	P80	20A, 30mA, 0.1sec以下	30A	20A	20A	φ2.0×3	33m	φ1.6×3	φ1.6	M5			
	P112	30A, 30mA, 0.1sec以下	30A	30A	30A	5.5mm ² ×3	32m	φ1.6×3	φ1.6	M5			
	P140~P160	40A, 30mA, 0.1sec以下	50A	40A	40A	5.5mm ² ×3	23m	φ1.6×3	φ2.0	M5			

機種	室外機	漏電遮断器 定格電流		手元開閉器 開閉器容量 B種ヒューズ		配線用遮断器 定格電流		電源配線 注(1)		内外接続線 注(1)		アース線	
		①	②	③	④	太さ×本数	こう長	太さ×本数	太さ	ネジ			
単相	P40~P56	20A, 30mA, 0.1sec以下	30A	20A	20A	φ2.0×2	23m	φ1.6×3	φ1.6	M5			
	P63~P80	30A, 30mA, 0.1sec以下	30A	30A	30A	5.5mm ² ×2	24m	φ1.6×3	φ1.6	M5			
三相	PV40~PV55	15A, 30mA, 0.1sec以下	15A	15A	15A	φ1.6×3	29m	φ1.6×3	φ1.6	M5			
	PV63~PV80	20A, 30mA, 0.1sec以下	30A	20A	20A	φ2.0×3	33m	φ1.6×3	φ1.6	M5			
	PV112	30A, 30mA, 0.1sec以下	30A	30A	30A	5.5mm ² ×3	23m	φ1.6×3	φ1.6	M5			
	PV140~PV160	30A, 30mA, 0.1sec以下	30A	30A	30A	5.5mm ² ×3	23m	φ1.6×3	φ1.6	M5			

シングル機の結線

- ①電源の取り方は下表の接続パターンから選定し、行ってください。室内電源取り及び室内外別電源取りは原則できません。(ヒータ用電源は除く)
- ※例外的な接続方法の場合は技術資料を参照のうえ、所轄の電力会社にご相談の上指示に従ってください。
- ②室内外接続線は極性がありますので、必ず同一端子台番号間を接続してください。
- ③電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。漏電遮断器は、インバータ回路用遮断器(三菱電機製NV-Cシリーズまたは、その同等品)を選定してください。
- ④漏電遮断器が定格保護専用の場合は、漏電遮断器と直列に手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)または、配線用遮断器が必要となります。



〈シングル機：ヒータ後付時〉

- 注 (4) ④⑥⑧の仕様については上表のヒータレスと同一です。
 (5) 配線こう長は、電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を越える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
 ①の記載なき欄の配線こう長は50mです。
 (6) 室内外接続線 ④とヒータ用電源線 ⑤は必ず別ケーブルとしてください。

標準機・ヒータ後付時	室外機	漏電遮断器 定格電流		手元開閉器		配線用遮断器		手元開閉器		配線用遮断器		電源配線 注(5)		ヒータ用電源配線 注(5)		アース線	
		⑤		⑥		⑦		⑧		⑨		⑩		⑪ 注(6)		太さ	ネジ
		開閉器 容量	B種 ヒューズ	開閉器 容量	B種 ヒューズ	開閉器 容量	B種 ヒューズ	開閉器 容量	B種 ヒューズ	開閉器 容量	B種 ヒューズ	開閉器 容量	B種 ヒューズ	太さ×本数	こう長	太さ×本数	こう長
単相	P40~P56	30A, 30mA, 0.1sec以下	15A, 30mA, 0.1sec以下	30A	20A	20A	15A	15A	15A	2.0×2	16m	φ1.6×2	42m	φ1.6	M5		
	P40~P63 P80	20A, 30mA, 0.1sec以下	15A, 30mA, 0.1sec以下	30A	20A	20A	15A	15A	15A	2.0×3	32m	φ1.6×3	42m	φ1.6	M5		
三相				30A	20A	20A	15A	15A	15A	5.5mm×3	33m	φ1.6×3	42m	φ1.6	M5		

ハイパインバータ ヒータ後付時	室外機	漏電遮断器 定格電流		手元開閉器		配線用遮断器		手元開閉器		配線用遮断器		電源配線 注(5)		ヒータ用電源配線 注(5)		アース線			
		⑤		⑥		⑦		⑧		⑨		⑩		⑪ 注(6)		太さ	ネジ		
		開閉器 容量	B種 ヒューズ	開閉器 容量	B種 ヒューズ	開閉器 容量	B種 ヒューズ	開閉器 容量	B種 ヒューズ	開閉器 容量	B種 ヒューズ	開閉器 容量	B種 ヒューズ	開閉器 容量	B種 ヒューズ	太さ×本数	こう長	太さ×本数	こう長
単相	P40~P56	30A, 30mA, 0.1sec以下	15A, 30mA, 0.1sec以下	30A	30A	30A	15A	15A	15A	2.0×3	32m	φ1.6×3	42m	φ1.6	M5				
	PV40~PV56	15A, 30mA, 0.1sec以下	15A, 30mA, 0.1sec以下	15A	15A	15A	15A	15A	15A	2.0×3	32m	φ1.6×3	42m	φ1.6	M5				
三相	PV63	30A, 30mA, 0.1sec以下	15A, 30mA, 0.1sec以下	30A	20A	20A	15A	15A	15A	5.5mm×3	33m	φ1.6×3	42m	φ1.6	M5				
	PV80	30A, 30mA, 0.1sec以下	15A, 30mA, 0.1sec以下	30A	20A	20A	15A	15A	15A	5.5mm×3	28m	φ1.6×3	30m	φ1.6	M5				

〈ツイン・トリプル機：ヒータ付〉

- 注 (7) ④⑥⑧の仕様については上表のヒータレスと同一です。
 (8) 配線太さ ④は20mまでの電圧降下(2%)を見込んであります。現地の配線が20mを越える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
 (9) 室内機にヒータ装置した場合、室外機アース線太さを見直してください。

ヒータ装置	室内機ヒータ 合計容量 (三相)	漏電遮断器	開閉器 (A)	配線太さφ注(8)
		⑤	⑥	④
	4.3kw以下	15A, 30mA, 0.1秒以下	30	φ1.6
	5.0kw以下		30	φ2.0
	6.9kw以下	20A, 30mA, 0.1秒以下	30	φ2.0
	10.0kw以下	30A, 30mA, 0.1秒以下	30	5.5

室外形式	アース線	
	太さφ mm	ねじ
80	φ1.6	M5
112・140	φ2.0	M5
160	5.5	M6

② リモコン リモコンは別売です。

リモコンの据付

お願い 次(1)の位置は避けてください。

- 直射日光の当たる場所
- 発熱器具の近く
- 湿気の多い所・水の掛る所
- 取付面に凹凸がある所

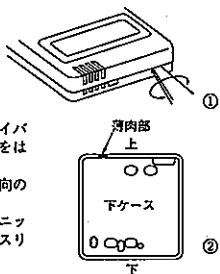
注意

リモコンの上ケースを取り外した場合は、リモコンを据付けるまで、基板の上にゴミ等または水分等が付着しないように、梱包箱または梱包用袋に入れて保護してください。

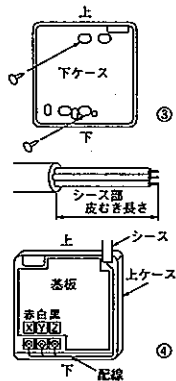
取付要領

露出取付

- リモコンケースをはずしてください。
 ●リモコン上部の凹部にマイナスドライバ等を差し込んで軽くねじり、ケースをはずします。
- リモコンコードの取だし方向は、上方のみ可能です。
 ●リモコン下ケース側の上方向内部をニッパー・ナイフ等で切り取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。



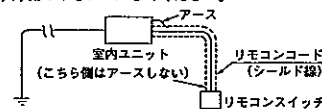
- リモコン下ケースを付属の木ねじ2本で壁に取り付けます。
- リモコンコードを端子台に接続してください。室内機とリモコンの端子番号を合わせて接続してください。端子には極性があるので間違えると運転できません。
 端子：●赤線、○白線、●黒線
 リモコンコードは、0.3mm²(推奨)~最大0.5mm²以下としてください。
 また、リモコンケース内を通る部分はシース部を皮むきしてください。
 各配線の皮むき長さは下記の通りです。
 黒：195mm
 白：205mm
 赤：215mm
- 上ケースを元通りに取り付けてください。
- リモコンコードをコードクランプを使用して壁等に固定します。
- 室内機の機能や用途に合わせて、機能設定をしてください。



⑥ 機能の設定の項をご覧ください。

リモコンコードを延長する場合の注意 ▶ 最大総延長600m

- コードは必ずシールド線を使用してください。
 ●全形式：0.3mm²×3心 (MVS3C (京阪電線))
 注(1) 延長距離が100mを超える場合は、下記のサイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm²以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズ変更してください。
 100~200m以内……0.5mm²×3心
 300m以内……0.75mm²×3心
 400m以内……1.25mm²×3心
 600m以内……2.0mm²×3心
 ●シールド線は必ず片側のみをアースしてください。

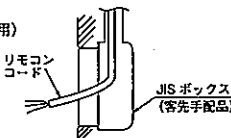


埋込取付

- JISボックスとリモコンコード (延長の場合はシールド線を必ず使用) をあらかじめ埋込んでおきます。

【使用可能JISボックス】

- JIS C 8336
 1 個用スイッチボックス
 2 個用スイッチボックス



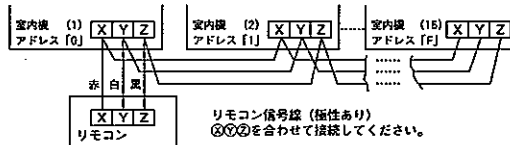
1個用スイッチボックスの場合 2個用スイッチボックスの場合

- リモコンの上ケースを外してください。
- 下ケースをM4ねじ2本 (頭φ8以下) を用意してJISボックスに取付けてください。
- リモコンコードをリモコンに接続します。
 露出取付の項をご覧ください。
- 上ケースを元通り下ケースにはめ込み取付完了です。
 ●室内機の機能や用途に合わせて、機能設定をしてください。

⑥ 機能の設定の項をご覧ください。

③ 1リモコンによる複数台 室内機制御

- 室内ユニット最大16台まで接続可能です。
 ①各室内ユニット間を3心のリモコン線にて渡り配線してください。
 延長リモコン線については、前記の項「リモコンコードを延長する場合の注意」をご覧ください。
 ②室内基板上的のロータリースイッチSW2により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「0」~「F」に設定してください。



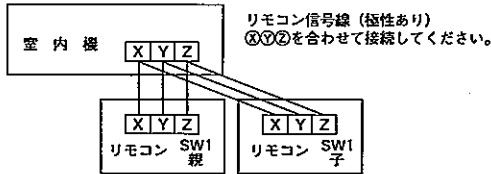
③電源投入後、リモコンの「エアコン」を押すと室内機アドレスが表示されますので、▲▼ボタンで接続されている室内機アドレスがリモコンに表示されることを、必ず確認してください。

1 方向吹出し天井埋込形 3-6/6

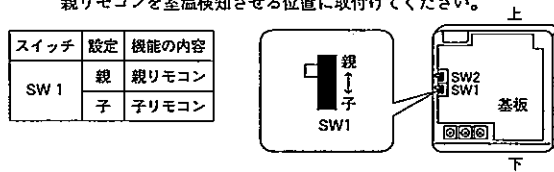
D 複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台（又は1グループ）に対して最大2個までのリモコンを接続できます。

①子リモコンのリモコン連絡線（3心）は室内ユニットから取る方法と親リモコンからの渡り配線による方法があります。



②子リモコンの切換スイッチSW1を子に設定してください。工場出荷時は親設定です。
（注）リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。



E 機能の設定

●本機の名機能は、リモコンと室内機を接続した際に、標準的な設定である、下表「○」印の項目に、自動的に設定されます。従って、新たに設定をする必要はありません。但し、「○」印の初期設定を変更したい場合は、その機能番号の項目のみ、設定をしてください。設定方法は、リモコンの据付説明書をご覧ください。●□印の項目は、本機には機能がありませんので、設定しないでください。

(1) リモコン機能

機能番号	機能内容	設定内容	初期設定
01	グループレジスタ	昇降無効 有効50Hz地区 有効60Hz地区	○
02	自動運転設定	自動運転有効 自動運転無効	○
03	温度設定	温度設定有効 温度設定禁止	○
04	運転切換	運転切換有効 運転切換禁止	○
05	運転/停止	運転/停止有効 運転/停止禁止	○
06	風量調整	風量調整有効 風量調整禁止	○
07	風向調整	風向調整有効 風向調整禁止	○
08	タイマ	タイマ有効 タイマ禁止	○
09	タイマ設定	タイマ有効 タイマ無効	○
10	停電補償設定	停電補償有効 停電補償無効	○
11	換気設定	換気接続なし 換気運動	○
12	温度範囲設定	表示変更有 表示変更無	○
13	室内ファン速調	ファン3速 ファン2速 ファン1速	○
14	冷専/ヒートン	ヒートン 冷専	※
15	外部入力設定	個別運転 全台同一運転	○
16	タイマ表示設定	タイマ表示有 タイマ表示無	○
17	タイマ制御設定	タイマ4位置停止 タイマ2位置停止	○

(2) 室内機能

機能番号	機能内容	設定内容	初期設定
01	高天井設定	標準 高天井1 表示しない 180時間後 600時間後 1000時間後	○
03	ファンサーモ設定	1000時間一停止	○
04	タイマ制御設定	タイマ4位置停止 タイマ2位置停止 タイマ入力 タイマ入力	○
05	外部入力切換	タイマ入力 タイマ入力	○
06	運転許可/禁止	通常運転 有効	○
07	暖房室温補正	通常運転 室温補正+3℃	○
08	暖房ファン制御	弱風 停止一弱風	○
09	凍結防止温度	2.5℃ 1℃	○
10	凍結防止制御	ファン制御有効 ファン制御無効	○
11	電気集塵機	ファン制御有効 ファン制御無効	○
12	加湿器制御	ドレンポンプ運動 ドレンポンプ運動	○

注1:「※」印の初期設定は、接続される室外機の機種（ヒートン機/冷専機）により、自動判別されます。
注2: (1)リモコン機能の⑦ルーバ制御設定を変更する場合は、(2)室内機能の④ルーバ制御設定も変更してください。

G 冷房試運転操作

リモコンを次の手順で操作してください。

1. 冷房試運転の開始

- ① [運転/停止] ボタンを押して、運転します。
- ② [運転切換] ボタンにより、「冷房」を選択します。
- ③ [試運転] ボタンを3秒以上押しします。
「項目」で選択 → 「セット」で決定 → 「冷房試運転」▼と、表示が切り換わります。
- ④ 「冷房試運転」▼の表示で、[セット] ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。
表示は、「冷房試運転」となります。

2. 冷房試運転の解除

- ① [運転/停止] ボタン又は、温度設定 [] ボタンを押すと、冷房試運転を終了します。
「冷房試運転」表示が消灯します。

運転データの確認

リモコン操作により、運転データの確認ができます。

- ① [スクロール] ボタンを押します。
「項目」で選択 → 「セット」で決定 → 「運転データ表示」▼と、表示が切り換わります。
- ② 「運転データ表示」▼の表示で、[セット] ボタンを押します。
- ③ 表示が「室内00▲」（点滅）となります。
▲▼ボタンで、表示したい室内機番号を選びます。
（室内機が一台しか接続されていない時は、室内番号は切り換わりません。）
- ④ [セット] により確定します。
（室内機番号が点滅から点灯に変わります。）
「データ読込中」（データを読込む間点滅表示）
↓
「運転データ」▲と表示され、01番のデータが表示されます。
- ⑤ ▲▼ボタンにより、現在の運転データを01番より順に表示します。
表示される項目は右記の通りです。
※機種により該当するデータがないものは、その項目は表示されません。
- ⑥ 室内機を変更する場合は、[エアコンNo.] ボタンを押すことにより、室内機選択表示に戻ります。
- ⑦ [運転/停止] ボタンを押すと、終了します。

設定の途中で、[セット] ボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。

番号	データ項目
01	運転モード
02	設定温度
03	吸込温度
04	内熱交温度1
05	内熱交温度2
07	室内ファン速度
11	室内運転時間
21	外気温度
22	外熱交温度1
23	外熱交温度2
24	運転Hz
26	低圧
27	吐出管温度
28	トール下温度
29	CT電流
31	室外ファン速度
32	静音モード有効/無効
33	63Hz ON/OFF
34	63Hz1 ON/OFF
35	77Hz ON/OFF
36	コック運転時間
37	膨張弁開度1
38	膨張弁開度2

F ドレンポンプ運転操作

ドレンポンプ運転がリモコン操作により可能です。リモコンを次の手順で操作してください。

1. ドレンポンプ強制運転の開始

- ① [試運転] ボタンを3秒以上押しします。
「項目」で選択 → 「セット」で決定 → 「冷房試運転」▼と、表示が切り換わります。
- ② 「冷房試運転」▼の表示の時に、[] ボタンを一度押し、「ドレンポンプ運転」▲を表示させます。
- ③ [セット] ボタンを押すと、ドレンポンプ運転を開始します。
表示: 「ドレンポンプ運転」 → 「セット」で停止

2. ドレンポンプ運転の解除

- ④ [セット] ボタン又は、[運転/停止] ボタンを押すと、ドレンポンプ強制運転を停止します。
エアコンは停止状態となります。

H 制御の切換

(注) □ 囲みは、工場出荷時の設定

項目	短絡	開放	設定内容	初期設定
J-1	遠方運転入力 (CnT) モデル入力	遠方運転入力 (CnT) をバypass入力	SW9-1	オートリフトパネルの降下長さの設定
J-2	短絡	暖房サーモOFF時弱風	SW9-3	OFF
	開放	暖房サーモOFF後5分停止し弱風	ON	応急運転 (蒸気中のコネクタCnBも同時に抜く)
J-3	短絡	通常運転	SW9-4	OFF
	開放	遠方運転入力 (CnT) により運転制御	ON	高天井制御 (ファン回転数アップ)
J-4	短絡	—	—	—
	開放	暖房室温検知補正+3℃	—	—